

## 地域医療連携だより

平成  
28年度  
月号  
第24号



### 診療科紹介 リハビリテーション技術科

当院リハビリテーション技術科の紹介をさせていただきます。

リハビリテーション技術科では脳疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、がん、廃用症候群の患者さんに対して、理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士3名の総勢16名で早期離床・QOLの向上を目標にリハビリテーションを実施しています。

4月からは徳島大学の先生方による脊椎外来（毎週木曜日）午前：診察、午後：内視鏡術（PED法等）を実施しています。当科としては術前評価や術後リハビリなどをサポートしています。

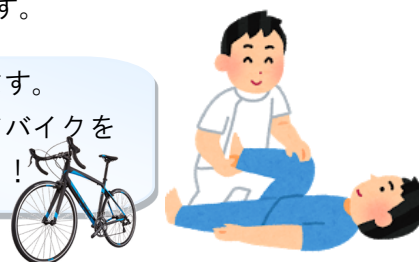
#### 理学療法

怪我や病気によって身体機能や運動能力に支障を来した人に対して、早期より運動療法を中心として行っています。「手の上げ下げ」・「足の屈伸」といった運動機能や「起き上がる」・「座る」・「立てる」など基本的な日常生活動作の回復を図るとともに、早期から離床を促し、家庭・社会復帰を目指して理学療法を行っています。



←新人さん

よろしくお願いします。  
私生活では、ロードバイクを  
がんばっています！！





## 作業療法

「作業」＝「生活すること」の意味合いがあり、さまざまな障害を負った方々に対し、いろいろな作業活動を用いて治療を行います。作業活動を通じて実際の生活に必要な筋力、関節の動き、感覚機能などの維持・改善を図るとともに、スムーズな動きや耐久性の獲得を目指します。活動は日常活動動作から趣味的なものまで幅広く、同時に認知機能にも働きかけ、不安を和らげたり自信づけを行ったりします。また、その人の機能を最大限に活用できるように道具や環境の工夫・家族への介護方法の練習や指導にも介入していきます。



## 言語聴覚療法

～言語や食べることの機能の獲得・回復・維持～

人と話す楽しみ、自分の舌で味わう喜びを取り戻せるよう、コミュニケーションや食べる機能の獲得・回復・維持を目的にお手伝いをしています。また、このような障害を家族や周囲の人に理解され、支援していただけるよう取り組んでいます。

嚥下障害の方には、必要に応じて嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）を実施し、食べやすい姿勢の工夫や食事形態の検討をします。また、患者さんやご家族にも実際のVF・VEの画像を見ていただきながら嚥下の状態を説明しています。



# 住民参加型の医療を提供する「香川診療所」

## 高松市民病院附属香川診療所 眼科

今回は香川診療所眼科の紹介をさせていただきます。

当科は、1953年に開院した前身である香川病院の翌年に開設され、2005年9月には、筆者（都村）が着任し、現在に至っています。診療は一般眼科と白内障手術を、主に医師1名と看護師を含めたスタッフ2名の計3名で行っています。

白内障手術は毎週火曜の午後に行っています。香川病院の頃は入院（1泊2日）でしたが、2010年10月の無床診療所に移行後は日帰りで行っています。この時ばかりは眼科のスタッフだけでは足りないため他科スタッフの応援も得て行っています。

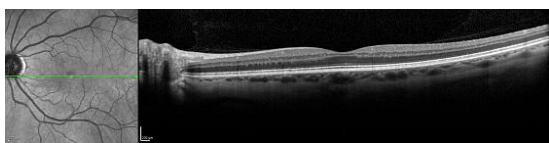
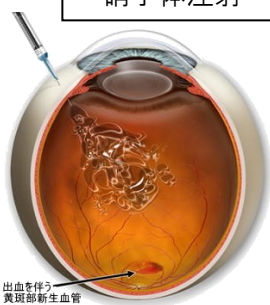
また、網膜断層撮影ができるOCTの導入と抗VEGF薬の保険収載を機に、2014年4月より糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫に対する硝子体内注射の治療を開始しました（対象疾患である加齢黄斑変性症に関しては香川大学に紹介しています）。

以上、当科の紹介をさせていただきました。普段は糖尿病や高血圧の眼底精査等で紹介いただきありがとうございます。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

光干渉断層計（RS-3000）



硝子体注射



出血を伴う黄斑部新生血管



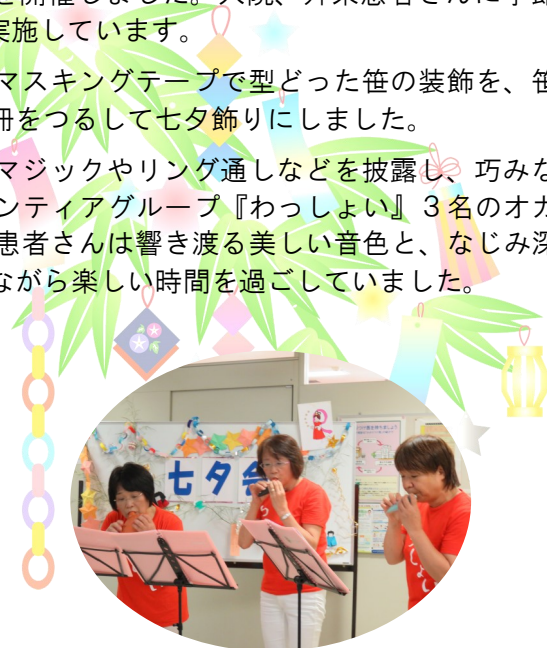


## 『七夕会』を開催しました！

7月6日（水）に玄関ロビーにて、七夕会を開催しました。入院、外来患者さんに季節を感じ、心安らぐひとときを提供しようと毎年実施しています。

会場となった玄関ホールには、壁面に通院患者さんによるマスキングテープで型どった笹の装飾を、笹には職員手作りの飾り付けや、患者さんの願い事が書かれた短冊をつるして七夕飾りにしました。

七夕会前半、当院医師によるマジックショーではトランプマジックやリング通しなどを披露し、巧みなおしゃべりで見る人を魅了していました。後半には、市内ボランティアグループ『わっしょい』3名のオカリナ演奏で、童謡「七夕」「海」など6曲が披露されました。患者さんは響き渡る美しい音色と、なじみ深いメロディーに合わせて手拍子を打ったり、一緒に歌ったりしながら楽しい時間を過ごしていました。



## 『第5回 地域医療連携カンファレンス』開催

平成28年6月16日（木）に、『第5回 高松市民病院地域医療連携カンファレンス』をJRホテルクレメント高松にて開催しました。

特別講演の講師には、徳島大学医歯薬学研究部 運動機能外科学（整形外科）の西良 浩一教授をお迎えして、『腰痛治療の最前線～体にやさしい低侵襲・内視鏡手術』の演題についてご講演いただきました。また、今回は一般講演として、当院整形外科の高木 俊人先生が『「ロコモ」とは？ロコモチャレンジ！』の演題について講演しました。

各種研究会等の多い時期にも関わらず、地域医療機関の先生方、医療職の方にも多数ご参加いただき、また、当院医師、職員を含め合計参加人数が約150名にのぼる盛会となりました。講演終了後の意見交換会におきましても、多くの方々にご参加いただき、有意義な意見交換の場をもつことができました。ご多忙中、ご参加いただきまして、充実した地域医療連携カンファレンスを無事に開催できました。誠にありがとうございました。

今後とも継続して地域医療連携カンファレンスを行ってまいりたいと考えていますので、何卒よろしく願いいたします。



高木 俊人先生






西良 浩一教授



長町 顕弘准教授

# 第50回 地域医療連携セミナー開催のお知らせ

-  日時 平成28年9月21日（水）午後7時から（1時間半の予定）
-  場所 西館（2階） 西会議室
-  演題 (1) 「convexEUSを用いた検査／治療手技：EUS-FNAなど」  
消化器内科医長 田中 育太
- (2) 「急性疾患の画像診断」  
放射線科医員 小濱 祐樹

※ 事前申し込みが必要です

日本医師会生涯教育制度の体験学習1単位カリキュラムコード(53, 12)を取得いただけます。

当日は軽食をご用意しております。

一人でも多くの先生方のご出席をお待ちしております。



## 『医療・介護関連施設職員研修会』開催



第26回

日時：5月19日（木）14：00～15：00  
テーマ：『皮下埋め込み型ポートの管理について』  
講義と実技  
担当：副院長兼地域医療連携室長 福田 洋  
がん化学療法看護認定看護師 塩谷 美由紀  
参加人数：18名

日時：6月23日（木）14：00～15：00  
テーマ：『急変時の対応について』講義と実技  
担当：救急看護認定看護師 小林 由紀  
参加人数：34名



第27回

ご参加ありがとうございました

…FAX予約をお願いします…

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療連携室へ事前にFAX予約をお願いいたします。  
「高松市民病院FAX診療申込書」をご利用ください。



受付時間 平日（月～金）午前 8時30分～午後 6時00分  
電話 (087) 834-2181代表 / (087) 834-2235（紹介予約専用）  
F A X (087) 834-2223（直通）

0120-834-224（フリーダイヤル）

※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております